

# みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：ともに前へ！復興を支える応援職員
- p2 みやぎ“復興人”：co-ba kesennuma、応援職員紹介
- p3 月間ココロプレス、県からのお知らせ
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報 ほか



**メールマガジンによる配信も行っています！** 配信を希望される方は、1 お名前、2 お住まいの都道府県、3 ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して [fukusuim@pref.miyagi.jp](mailto:fukusuim@pref.miyagi.jp) まで送信願います！



## ともに前へ！復興を支える応援職員

—全国から多くの応援職員が復興業務に携わっています—

### 応援職員の声

東日本大震災から間もなく4年を迎えようとしていますが、県内の被災地では、復興に向けて各種事業が急ピッチで進められています。県の一般会計の当初予算は、震災前8,396億円（平成22年度）でしたが、震災後は1兆4,580億円（平成26年度）と予算規模で約2倍弱に増えており、復興事業が増えている中、復興に従事する職員が不足している状況です。

そうした中、宮城県と沿岸市町には、国や全国の自治体、民間企業などから、復興事業に従事する多くの職員を派遣していただいています。それぞれの派遣元の団体などでも、大変厳しい人員状況の中で派遣していただいていることに、心から感謝を申し上げます。

現在、宮城県と沿岸市町には、国のほか、44の都道府県、294の市区町村などから、合わせて1,241名の職員を派遣いただいております。応援職員の方々は、復興への大きな支えとなっています。

一方で、まちづくりを進める土木職員や埋蔵文化財などを調査する専門職員のほか、税務や用地買収を担当する事務職員についても、まだまだ不足が続く見通しです。県では、任期付職員の採用や被災市町に職員を派遣するための任期付職員を採用し、沿岸市町へ派遣する取り組み（代行採用）等を行うとともに、国や全国の自治体の皆様に、職員派遣の継続をお願いしております。

**他都道府県等からの人的支援の状況（平成27年1月1日時点）**

区分	必要人数	充足人数	不足人数
宮城県に対する人的支援	269人	255人	14人
市町村に対する人的支援	1,528人	1,309人	219人
合計	1,797人	1,564人	233人

※教職員、警察官除く人数

平成27年1月17日で阪神・淡路大震災の発生から20年を迎えた兵庫県から石巻市復興住宅課に応援に来ていた我謝賢（がじゃまさる）さんを紹介いたします。

●現在従事されている業務について教えてください。

復興住宅課は、被災した方々に向けた災害公営住宅の整備を進めています。私は、その中でコミュニティ形成や福祉施策の支援等、市役所内部で様々な課と進める事業の調整役を担っています。

避難所から仮設、そして災害公営住宅へと移っていく中で、被災した方の生活は、周辺の状況も含めて大きく変化し、周囲の支援を必要とする人びとが増えていきます。そのような方々のお役に立てるような取り組みをしていこうと奔走している毎日です。



住民とのワークショップ  
石巻市復興住宅課  
我謝賢さん（写真右）

●応援職員として感じたことを教えてください。

石巻市は被災地最大の被害を受け、復興事業も多種多様で、まち全体を再構築するほどのボリュームです。市職員も被災直後の凄惨な状況を経験し、長期化する復興事業の中で疲弊しながらも、なお意欲的に仕事を進めており、兵庫の経験から見ても敬服します。

県職員としての経験しかなかった私が、市役所の業務に携わることで、広域行政（県）に求められている役割をより強く実感しています。自助・共助、公助などのことばにもあるように、緊急時にはまず自分の備え、そして近隣の協力が大切です。住民の方々同士、そして県や市の職員も日頃からお互いに声を掛け合える社会環境を目指して業務に邁進して参りたいと思います。

【お問い合わせ先】 県人事課 ☎ 022-211-2286 URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zinzi/>  
 県市町村課 ☎ 022-211-2334 URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sichouson/>



カツオの水揚げやフカヒレの生産量日本一を誇る気仙沼市。「海と生きる」というスローガンの下、復旧・復興工事が進められています。ここ気仙沼市に、以前は飲食店だった建物を自分たちで改装し、シェアオフィス「co-ba KESENNUMA」を立ち上げた杉浦恵一さん。シェアオフィスの開業により、仙台や東京などのシェアオフィスとの連携体制をつくり、気仙沼における起業家支援が期待されます。室内は、テーブルやイスなどのほか、調理ができるオープンキッチン、スピーカーやプロジェクターなど、イベント会場としても利用できます。

今月号は、気仙沼初のシェアオフィスを開業した杉浦さんにお話を伺いました。

●co-ba KESENNUMA について教えてください。

震災後気仙沼には多くの支援者らが集まったが、気仙沼は仙台などからも遠く、足を運ぶのにもお金と時間がかかる状況でした。そこで、気仙沼で新しいビジネスなどにチャレンジしたい人の拠点となるような場所をつくりたいと思い、「co-ba KESENNUMA」を立ちあげました。シェアオフィスやコワーキングスペースといったものが気仙沼で受け入れられるか未知数ですが、オフィスとしての機能のほか、地元の人たちがイベントなどで活用し、いろんな人たちが交流できる場になればと思っています。

●今後の取り組みや抱負などを教えてください。

シェアオフィスの周知を進め、会員数を増やすとともに、隣接する復興商店街や地域の人々を巻き込んで、気仙沼の交流人口を増やしていきたいと考えています。オフィスを使う人が増えれば、新たな仕事生まれ、新たなつながりができていきます。先日、地元の高校生がco-ba KESENNUMA を使ってイベントをしたいという依頼もあり、少しずつまちが元気になると感じています。

最初は縁もゆかりもなかった気仙沼ですが、今後とも気仙沼の復興に携わっていきたく思います。



杉浦さん(左)とボランティアの学生



☎co-ba KESENNUMA <http://ima210.com/co-bakesennuma/>

☎0226-25-8131 所 気仙沼市南町 2-2-25

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.28



氏名 西村 博之 (ニシムラ ヒロユキ)  
派遣元 石川県  
所属 気仙沼地方振興事務所

自然豊かで歴史漂う街並の石川県から来ました。今年3月には北陸新幹線が開通しますので、是非一度、終着駅となる金沢へお越し頂ければと思います。

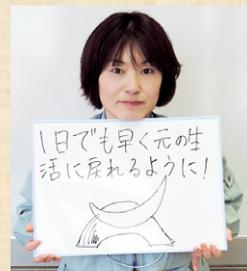
東日本大震災の復旧・復興に携わりたいと希望し宮城県に来ました。現在は、漁港の復旧や防潮堤に関する仕事を担当しています。宮城県は大変食べ物おいしく、特に気仙沼のサメやホヤ・鯉・さんまの刺身など地元では余り食べることができない新鮮な海産物に感動しました。任期も残り僅かですが、早期復旧・復興に向け皆さんとともに頑張っていきたいと思っています。



氏名 浦川内 尚樹 (ウラカワチ ナオキ)  
派遣元 佐賀県  
所属 気仙沼地方振興事務所

派遣元の佐賀県にある嬉野温泉は、日本三大美白の湯に選ばれた温泉で、個人的にとってもおすすめです。

宮城県では、南三陸町の農地を宅地にする許認可の業務や農協との調整などを行っております。最初は初めての専門用語が分からず苦労したほか、電車のドアを開けるのにボタンを押したり、刺身に普通の醤油を使うなど、文化の違いに驚くことが多かったです。残りの任期も宮城県のため、被災者の皆さんのために、自分の役割を全うしようと思っています。



氏名 鶴野 田鶴子 (ウノ タツコ)  
派遣元 富山県  
所属 復興住宅整備室

寒ブリや鱒(マス)寿司が有名な富山県から建築職として派遣されています。単身赴任で来ており、派遣の背中を押してくれた家族に感謝しています。

宮城県では、石巻市の災害公営住宅の管理・監督を担当しています。実際被災地に来てみると、報道などでは伝わらない現状があることを感じました。派遣元の富山県では、新しい公営住宅をつくっていないため、そのような業務に携われたことはとても勉強になっています。任期中に担当した住宅の完成は難しいので、復興した宮城に家族を連れて再び来たいと思います。



氏名 平安山 良太 (ハイアツカ リョウタ)  
派遣元 島根県  
所属 気仙沼土木事務所

テニスの錦織圭選手の出身地でもある島根県から来ました。島根は出雲大社やたたら製鉄所、世界遺産にも登録された石見銀山などが見所です。

宮城県では、気仙沼の用地買収の業務を担当しています。派遣元でも、用地関係の仕事を3年経験しており、現在の業務に生かしております。土日には、車で宮城・岩手の温泉巡りをしたり、資格を生かして高校野球の審判をしていました。職場の皆さんに温かく支えられながら業務を行っています。被災者の方々の期待に応えられるよう残りの任期も邁進して参ります。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1500記事・  
100万アクセスを超えました。

宮城の  
復興情報を  
募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2014年12月21日 日曜日掲載

## 女性の視点で考える 「みんなのための避難所づくり」(仙台市)

[http://kokoropress.blogspot.jp/2014/12/blog-post\\_51.html](http://kokoropress.blogspot.jp/2014/12/blog-post_51.html)

「女性と防災せんだいフォーラム」のプログラムの一つ、防災ワークショップ「みんなのための避難所づくり」。避難所をより良いものにするためにはどうすればよいのか、一緒に考えることで、参加者はいろいろな問題に気づくことができました。



2014年12月27日 土曜日掲載

## 子どもたちが元気に走りました!! うみねこキッズランナー(女川町)

[http://kokoropress.blogspot.jp/2014/12/blog-post\\_66.html](http://kokoropress.blogspot.jp/2014/12/blog-post_66.html)

「女川の町に元気を届けます!!」震災前年まで26回を数え、全国から毎年1,000人以上ものランナーが参加していた「女川うみねこマラソン」。震災後は復旧工事のため休止していましたが、保険会社のサポートにより「小学生の部」限定で復活しました。



2014年12月28日 日曜日掲載

## 新しいまちが生まれる。私たちが、できる ことを～気仙沼市南郷地区(気仙沼市)

[http://kokoropress.blogspot.jp/2014/12/blog-post\\_86.html](http://kokoropress.blogspot.jp/2014/12/blog-post_86.html)

災害復興住宅の建設が進む気仙沼市南郷地区で、受け入れ先の住民の皆さんによる勉強会が開催されました。地域住民の皆さんが準備を進め、地元の気仙沼市社会福祉協議会と宮城県社会福祉協議会がサポートに当たりました。



2014年12月31日 水曜日掲載

## その歌声と笑顔には太陽もかなわない ～サンシズジュニア(南三陸町)

[http://kokoropress.blogspot.jp/2014/12/blog-post\\_4.html](http://kokoropress.blogspot.jp/2014/12/blog-post_4.html)

地元の祭りやコンサート、パーティはもちろん、時に沖縄など県外から招かれて演奏を披露している「サンシズジュニア」。沖縄から支援にやって来た陸上自衛隊第15旅団の音楽チーム「サンシズ」から三線を教わった子どもたちが結成したグループです。



2015年1月4日 日曜日掲載

## ようこそ「いちごのカフェへ」 ～山元いちご農園(山元町)

[http://kokoropress.blogspot.jp/2015/01/1\\_4.html](http://kokoropress.blogspot.jp/2015/01/1_4.html)

「いちごづくしのメニューが盛りだくさんです。ぜひいらしてください」。県内有数のイチゴの産地山元町で、被災した農家約3軒が集まって設立した農業生産法人「山元いちご農園株式会社」が、農園内にカフェ「ベリーベリーラボ」を開いています。



2015年1月17日 土曜日掲載

## 平成27年度着工。街は、よみがえる。 ～海岸通1番2番地区市街地再開発準備組合～(塩竈市)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2015/01/2712.html>

「再開発を成功させて、『塩竈で商売が成り立つ』という状況を作り出す」。JR仙石線本塩釜駅から徒歩数分。震災以前には闇市やアーケード街があった地区が、新たな街「海岸通1番、2番」地区として生まれ変わろうとしています。



**みやぎ被災者生活支援ガイドブックを発行します**

県では、被災者の皆さまの生活を中心とした支援に関する概要と問い合わせ先を掲載した「みやぎ被災者生活支援ガイドブック」を毎年発行していますが、このたび制度改正等を反映した、平成27年1月版を発行しました。

県のホームページに掲載しておりますので、どうぞご活用ください。また、県内の応急仮設住宅にお住まいの方には、市町を通じて発送するほか、県外に避難されている方には直接発送します。

なお、掲載内容については、今後も制度改正などにより、内容が変わることがありますので、ご留意ください。

☎ 震災復興推進課 ☎022-211-2408

fukusui@pref.miyagi.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/guidebook.html>



**東日本大震災復興フォーラム in 東京を開催します**

東日本大震災から4年を迎えるに当たり、首都圏の方々を主な対象に、被災地域の復興状況や取組等について情報発信し、震災の風化防止・風評払拭と、継続的な支援を呼びかけるため、青森県、岩手県、福島県及び宮城県等の東北地方被災4県と、東京都が今年度初めて共催者となり、フォーラムを開催いたします。

☎ 平成27年2月12日（木）午後2時～午後4時30分

☎ よみうりホール（東京都千代田区有楽町1-11-1）

☎ 基調講演

（株）経営共創基盤代表取締役 CEO 富山和彦氏

パネルディスカッション

ー多様な主体による復興に向けた取組ー

☎ 東北4県・東日本大震災復興フォーラム実行委員会

☎024-932-3011 <http://fukkou-forum.com/>

**復興 イベント情報**

凡例 ☎日時、期間 ☎場所、会場 ☎内容等 ☎問い合わせ

**東北歴史博物館特別展 東日本大震災復興祈念「みちのくの観音さま一人に寄り添うみほとけ」（多賀城市）**

さまざまな苦しみに悩む人々を救済するために自ら現れるとされる観音菩薩は、最も身近なみほとけとして東北地方でも古くから信仰を集めてきました。本展では、各地に残る観音像や奉納品など、多彩な文化財を幅広く集めて展示し、東北の観音信仰の全貌に迫ります。

本展が、震災で被害を受けられた皆様にとってひと時の安らぎとなり、復興への思いを新たにできる機会にさせていただければ幸いです。

☎ 平成27年1月24日（土）～3月12日（木）

開館時間 午前9時30分から午後5時まで

休館日 毎週月曜日（祝祭日の場合はその翌平日）

☎ 東北歴史博物館 ☎022-368-0106

**しおがまおでん！鍋まつり（塩釜市）**

「しおがまおでん！鍋まつり」では、温かいしおがまおでんをお楽しみいただけます。

☎ 平成27年2月15日（日）10:30～14:30

☎ マリンゲート塩釜

☎ 塩釜市青年四団体連絡協議会事務局 ☎022-367-5111

**「RE:プロジェクト」記録展（仙台市）**

仙台市では、震災による被害の大きかった地域の暮らしを振り返り、地域資源を「再発見」「再認識」「再考」する取り組みとして「RE:プロジェクト」を実施しています。

今回はその一環として、「RE:プロジェクト」の活動を紹介する記録展を、昨年度に引き続き開催します。

☎ 平成27年2月3日（火）～2月27日（金）

☎ 仙台市役所本庁舎1階 ギャラリーホール

☎ RE:プロジェクト事務局 ☎022-214-8002

**マリンパル女川おさかな市場あんこう祭り（女川町）**

女川港に水揚げされた「あんこう」を格安販売いたします。当日はおさかな市場特製あんこう汁の振る舞い（無料）やホタテ焼き（有料）などの販売もあります。

☎ 平成27年2月14日（土）～15日（日）

両日 10:00～15:00

☎ マリンパル女川おさかな市場

☎ マリンパル女川事業協同組合 ☎0225-54-4714

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

編集後記

東松島市「小野駅前応急仮設住宅」の女性らによってつくられる「おのくん」。プレハブ仮設住宅の集会所で、靴下を材料につくられるソックスモンキーです。

先日、おのくんの写真絵本が発売されました。仮設はいずれ撤去されることから、今後も作り手や購入者らの交流スペースとするため、売り上げは新しい作業場の建設費に充てられるとのこと。絵本は、集会所やホームページで販売されています。☎

東松島市小野地区



平成23年3月 撮影



平成26年11月 撮影

みやぎ復興プレス 第33号

【発行日】平成27年2月1日 【発行】宮城県震災復興本部（事務局：震災復興推進課）

電話：022-211-2408 e-mail：fukusui2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」 [URI http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/)

「震災・復興」 [URI http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/](http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/)

